

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年2月28日

事業所名 児童発達支援センター 防府市なかよし園

	チェック項目	はい	いいえ	解答なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	7	0	・子どもがクールダウンできるスペースができていない。棚で仕切って空間を設けています。 ・スペースは決して適切とは言えないが活動に応じて間仕切りをしています。	・現状を考慮して、今後に生かしていきたいです。 ・不要なものは片付け、環境整備の徹底を図ります。 ・子供達が安全に過ごすために、区切ったり構造化していく必要があります。常時、個別課題かクールダウンの場を提供するよう努めます。
	2 職員の配置数は適切である	6	7	0	・配置基準は満たしています。クラス別で職員を配置していますが、支援は十分とは言えません。	・配置基準は満たしていますが、様々な発達障害を抱えておられるお子様に対応するが困難な状況です。有資格者の人材確保に努めながら、よりよい支援が行えるよう、努めていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	3	1	・研修を受けながら見直し中です。クールダウンの場所があると良い。現状使えるもので、できる限りの環境設定をしている。	・引き続き、子供達が分かりやすく、特性に合わせた支援が行えるよう努めていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	3	1	・子どもたちが遊ぶスペースが(各クラス)もう少し広くすれば良い。 ・講師にアドバイスをもらいながら取り組んでいます。 ・建物が古い為生活空間を常に清潔に保つよう毎日清掃時、消毒を行っています。	・環境整備や消毒などを行いながら利用児の活動空間を快適に過ごせるように努力致します。 ・整備の改修については、早期に対応することは、困難ですが、子ども達が安全に安心して活動できるよう生活空間を整えていきます。 ・トイレの排水溝からの異臭については、改善できるように努めていきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	3	2	・計画書の策定と振り返りを定期的に行っています。 ・業務上、課題が発生した時は、会議等で振り返り課題解決に努め、業務改善を図っています。	・終礼時に振り返りを行い、課題を発見し、早期に解決していきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	3	3	・アンケートや自己評価は適時ホームページにて公開され、確認できる状態となっています。(園の玄関にも掲示しています。)	・保護者からの意見、意向を把握し、可能な限り業務改善に努めます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	0	3	・十分とは言えないが業務について振り返る時間や話し合いを持ち、改善するよう努めています。	・今後も、ホームページにて評価の公表を継続していくと共に新しい情報の提供にも努めていく。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	5	4	・第三者による外部評価は行っていません。	

	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の振り返りや事例検討などの内部研修を行い、日々支援についての資質向上に努めています。 ・内部研修や外部研修への参加を積極的に行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン研修を含む外部研修への積極的参加や内部研修を定期的に行う事で、職員の資質向上に努めます。 ・専門機関の講師派遣事業を活用して専門的知識の習得と向上に努めます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の状況を報告書にまとめ、計画書を作成しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援会議やケース会議、検討会議等を通して計画の見直しを行うようにしています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	5	4	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントツールについては少しずつ取り入れています。職員全員が共通認識を持てるように研修に取り入れつつあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修や検討会議等を行い、子どもの適応行動についてのアセスメント力をアップさせていく必要性があります。 ・発達検査については、職員の研修に取り入れ、誰もがアセスメントできる能力を習得できるように努めていきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支援については、講演会や親子体操教室などを開催していますが十分とは言えません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援ガイドラインを周知し、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」に目を向けられるように努めます。 ・地域支援については、不十分のため、今後地域のニーズを把握しながら、支援を検討していきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・支援会議を行い全職員が共通認識を持ち、統一した支援をおこなうようにしています。 	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	13	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス別にチームでプログラムを立てています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームでの集団プログラムの中に個別活動のプログラムも取り入れていきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	13	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの変化に応じプログラムを変更しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動プログラムを設定していきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	12	0	1		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、一クラス事担当職員を決めて支援開始前に打ち合わせを行っています。嘱託職員やパート職員にもその日の内容などについて伝えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常でのコミュニケーションを充実させることで、日々の支援内容や役割分担を職員それぞれが自覚できるように努めます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳やケース記録の際に共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、支援の振り返りを行い、情報共有しながら、よりよい支援につなげていきます。

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13	0	0	・報告書に、改善点等を記載し、職員全員で共有理解に努めています。	・支援記録は毎回行っています。支援に対して必要な時は会議を行い、改善に努めていきます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10	0	3	・モニタリングは児発管と担当職員が中心になり計画の見直しを行い全職員で検討して必要性を検討しています。	・定期的には勿論のことですが、利用児の状況に変化があり必要と判断した時は計画の見直しをすることで適切な支援ができると考えています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	3	3	・現状は児発管が現場の職員に聞き取りを行って会議に出席しています。	・現場の忙しさから直接担当職員が参加できていません。今後は児発管と共に担当職員の参加を積極的に行う事で現場での支援を具体化し全職員で共有できるように努めます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	11	2	0	・保健センターや子育て支援課・子ども家庭科等の関係機関との会議に参加したり情報の提供と共有をしています。	・今後も各関係機関と、定期的に会議などを行い、連携に努めていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	3	4		・病院、行政や関係機関との連携を積極的に取り組んでいきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	3	4	・対象児の通院日時に合わせて主治医の意見などを聞いて指示書を受け取ったりしています。	・今まで以上に保護者の同意を得ながら、主治医や協力医療機関と必要に応じて積極的に連携を取り、体制を整えていくよう努めます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	12	1	0	・情報共有の為、書類等を職員全員に回覧しています。	・移行支援として、対象児童がスムーズに移行できるように支援内容について相互理解を深めるため今後も連携を深めていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	11	1	1	・文書での引き継ぎをしていますが、必要に応じて連携を図っています。	・関係機関や学校等と連携を取り、支援内容等についての情報共有や相互理解に努めていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10	1	2	・発達障害者支援センターの派遣事業を利用し定期的に内部研修を行い現場職員への支援等について助言を受けました。研修内容についてなど担当職員が連携を図っています。	・発達障害者支援センターからの助言を(事例検討)今年度から受けることになりました。 ・今後も外部の専門機関との連携を取り、研修や助言を積極的に取り入れていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	13	0	0	・今年度は、近隣の認定こども園の園児さんたちと6月と11月の2回ふれあい交流を行っています。	・当施設や児童発達支援事業所のみ利用の園児にとっては障害のない子供との交流がないので実施回数を増やすことで交流活動の機会を増やしていきたいと考えます。

	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8	1	4	・児発管が中心に参加をしています。	・現状では、常に同じ職員のみ参加しているので、今後は他の職員の参加を進めていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12	1	0	・お互いに確認し合うことが不十分です。	・保護者との話し合いの機会を持ち、共通理解をするように努めています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	4	2	・地域や事業所・関係機関等に広報活動をして参加者を募るよう努めています。	・メンター相談会や講演会への参加者が少ないので、もっと広報活動を行い、参加者を増やせるよう努めます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	4	・契約時に書面を見ながら丁寧に説明していますが、理解されていないこともあります。	・現状では、契約時に児童発達支援管理者や施設長が行っています。利用者が不安や疑問を持たないよう丁寧な説明をしていきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10	0	3	・支援計画書作成のための日々の報告書を作成しています。	・個別支援計画については、必ず保護者に説明し同意を得て実施しています。状態が変化し計画が途中変更する場合も、その都度丁寧に説明を行い、同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	2	2	・保護者からの訴え時のみになっている。	・いつでも定期的に保護者の相談に対応してまいります。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	10	0	3	・摂食指導の日に給食参観として保護者をお誘いし茶話会を設けている。	・保護者会はないですが、行事後の茶話会など少しずつ再開できればと考えています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0	2	・相談の申し入れがあった時は、園全体で検討しながら対応しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	12	0	1	・園だよりや保健だより、食育だより等で発信しています。	・今後も情報発信に努めます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	13	0	0	・外部に出す際には、必ず許可をもらっています。また同意書も頂いています。 ・事務所のロッカーに書類を保管し、部屋に施錠しています。パソコン上はパスワード保護しています。	・個人情報の取り扱いについては、行動基準等の読み合わせを行い、周知徹底をし、意識強化に努めていきます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12	0	1	・障害のある子供に対しては絵カード等を利用し保護者とは電話や連絡帳・文書を通して情報の伝達をしています。	

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	4	5	<ul style="list-style-type: none"> ・当施設での行事で地域住民を招待することはありませんが、同法人の催事や行事等に参加して当施設の広報活動を行うようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に当施設の事について十分な広報活動ができていないので認知度はあまりありません。地域の行事や催事等の情報を収集し、できるだけ参加し地域住民への情報提供等を行い地域活動を一緒にすることで開かれた事業運営ができると考えます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	13	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に周知されていないことを感じます。 ・マニュアルは作成し職員には周知しているが、保護者への周知については十分ではないため今後の課題です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き渡し訓練など、保護者を含めた訓練を取り入れていきます。 ・マニュアル関連について職員、保護者への周知は不十分に感じます、機会を設けていきたいと考えます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月行っている。年1回は保護者参加の引き渡し訓練も行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も定期的な訓練を行い、災害時に備えていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	13	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・疾病等の把握や服薬についての確認はアセスメント時に必ず聞き取りをしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度、児童票の更新をしています。(児童の情報の変化)今後も利用児の状況を確認し、柔軟に対応していきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	13	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーのある子に対してはかかりつけ医の意見書を提出してもらい対応しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の給食やおやつの提供については、保護者に必要書類を提出して頂き、栄養士、調理や職員で何重にもチェックして誤食を予防しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日常業務の中でヒヤリハット事例を記録、発表し職員みんなで共有しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日、終礼時、ヒヤリハット事例を確認し、記録用紙を職員全員に周知しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	13	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回研修に取り入れていきます。 ・虐待防止委員会・拘束適正委員会を設置し年2回開催しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修に参加した職員は、必ず内部研修でフィードバックし、虐待についての意識を高めるようにしています。 ・人権虐待防止セルフチェック表を3ヶ月毎に実施し所属等に提出したり、行動基準・倫理綱領の読み合わせ等を行い意識強化に努めています。内部研修に取り入れていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	13	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束はしていません。個々に応じて環境的要因に配慮して支援しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス乗車中や重度身体障害児の椅子からの転倒防止等のために、ベルト着用する場合は、必ず計画に記載し保護者への説明を行なうようにしています。また、同意書にもサインをして頂いています。